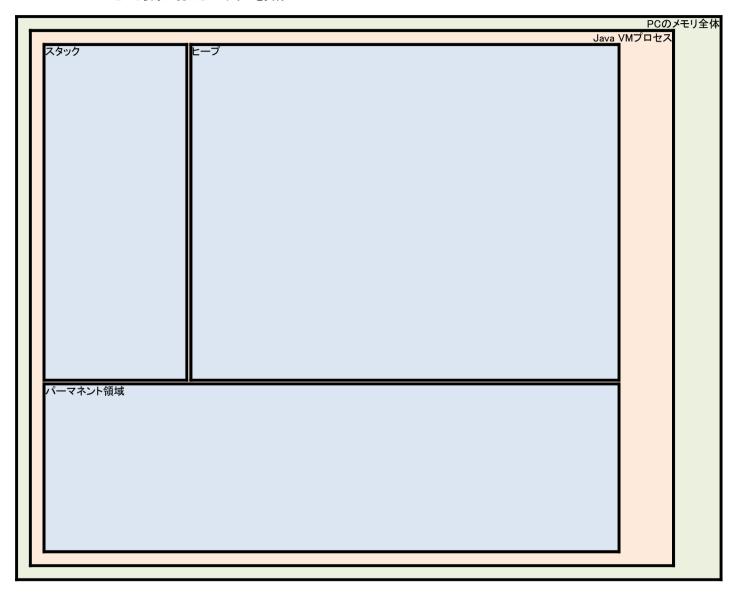
#### Javaアプリケーション実行順序

- 1.Javaアプリケーション実行端末上のメモリにJava VMプログラムを展開。
- 2.起動されたJava VMプロセスは、要求に必要なクラスファイル群をJava VMプロセスが管理するメモリ領域(パーマネント領域)に展開.
- 3.Java VMプロセスは要求に従ったプログラムを実行



### メモリ領域説明

スタック ヒープ	
パーマネント領域	
L	

## ①スタック

メソッドをフレームという単位で 実行順に下から上に積んでいき、 メソッド終了と同時に破棄される。 スタックはスレッドごとに割り当てられる。 スタック自身もスレッド終了と共に 破棄される。

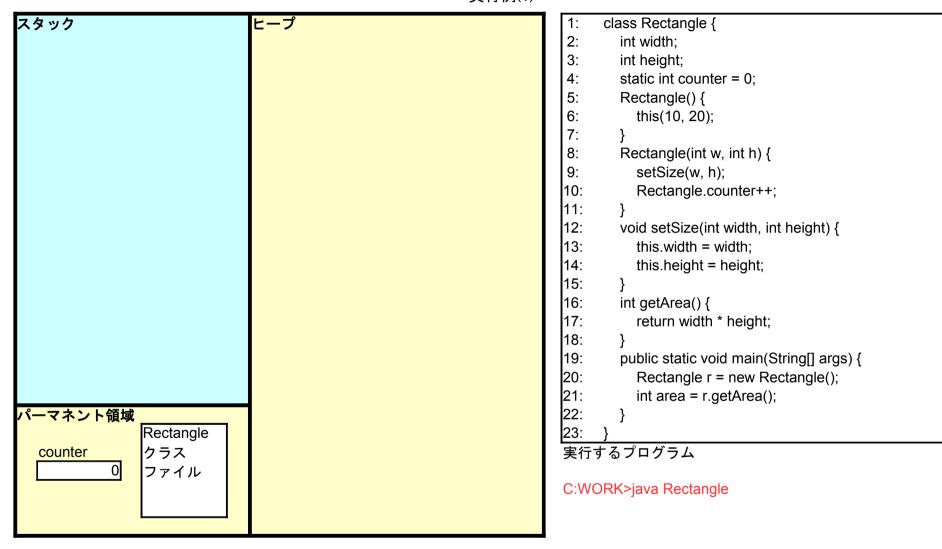
### ②ヒープ

インスタンスを生成するエリア。
JVM(Java仮想マシン: Java Virtual Machine)で
一つ割り当てられる領域で、全てのスレッド
から共有される。
GC(ガーベッジコレクション)対象。

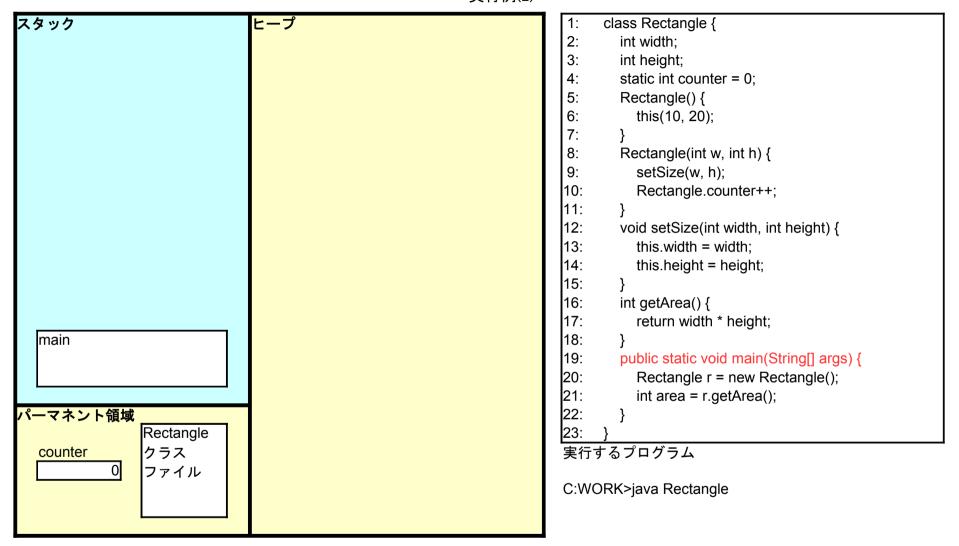
#### ③パーマネント領域

実行時に必要なクラスファイルのロード (ハードディスク等クラスファイルが保存 されている場所からメモリ上へ読み込む) と共に、クラスフィールドの領域を確保。 GC対象ではあるが、 GCのタイミングが②のヒープと異なる。

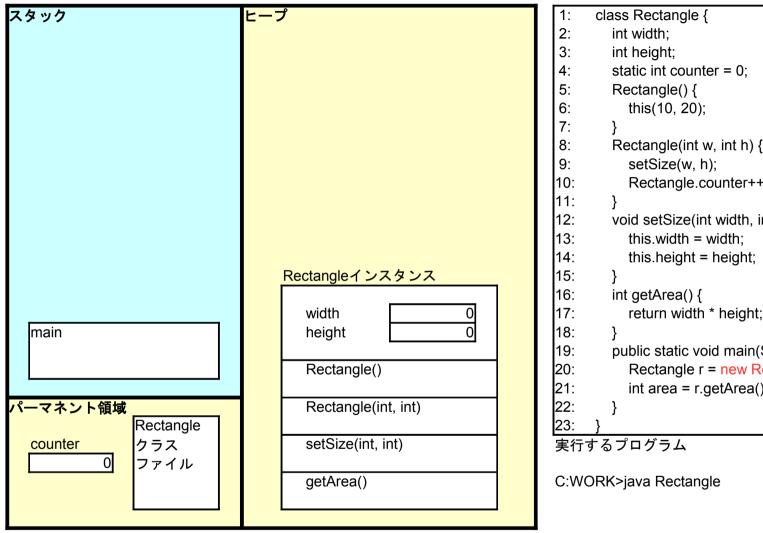
実行例(1)



# 実行例(2)

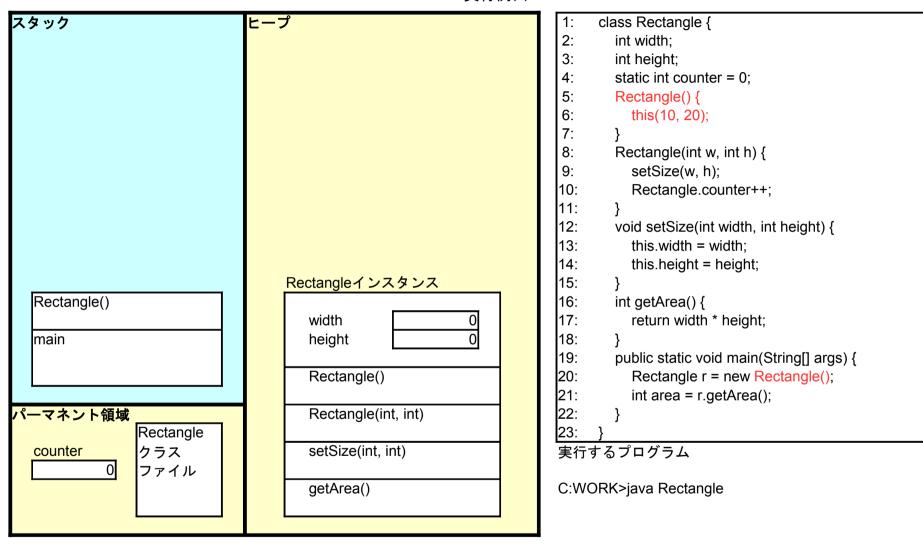


実行例(3)

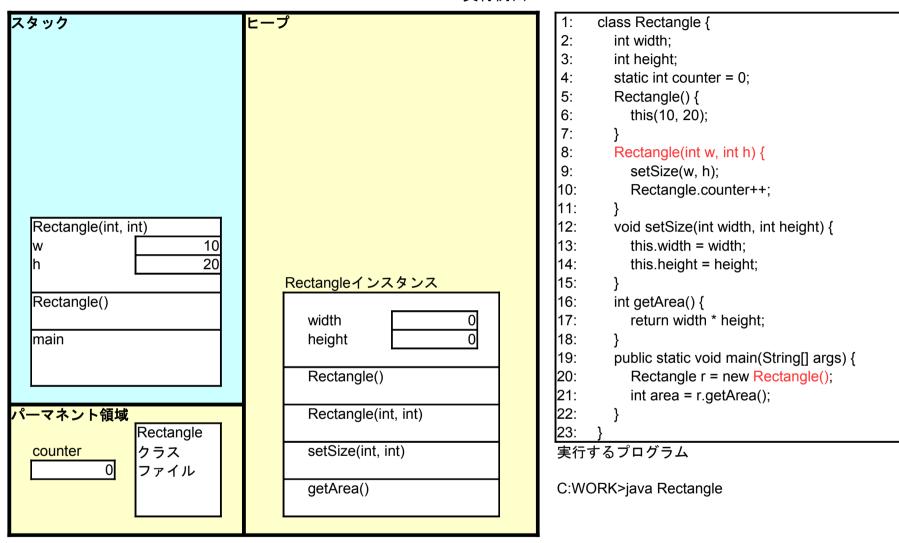


```
Rectangle(int w, int h) {
  Rectangle.counter++;
void setSize(int width, int height) {
  return width * height;
public static void main(String[] args) {
  Rectangle r = new Rectangle();
  int area = r.getArea();
```

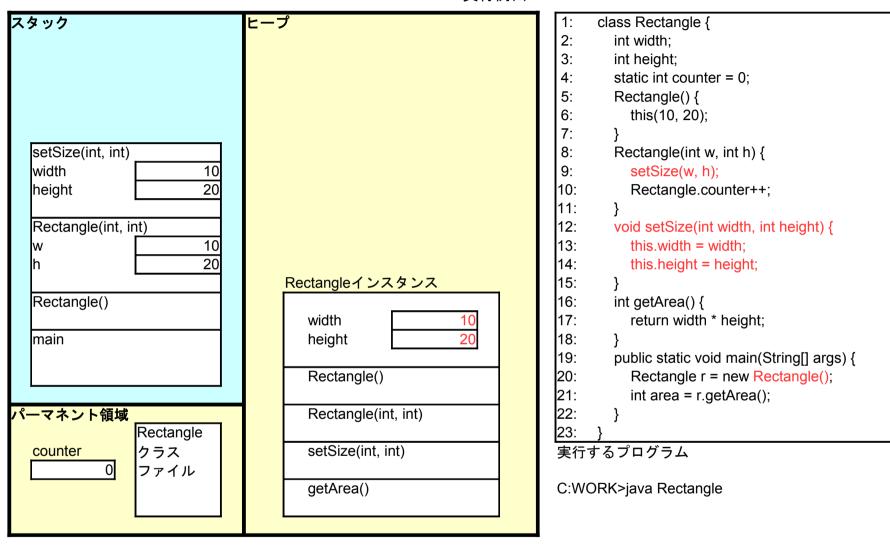
実行例(4)



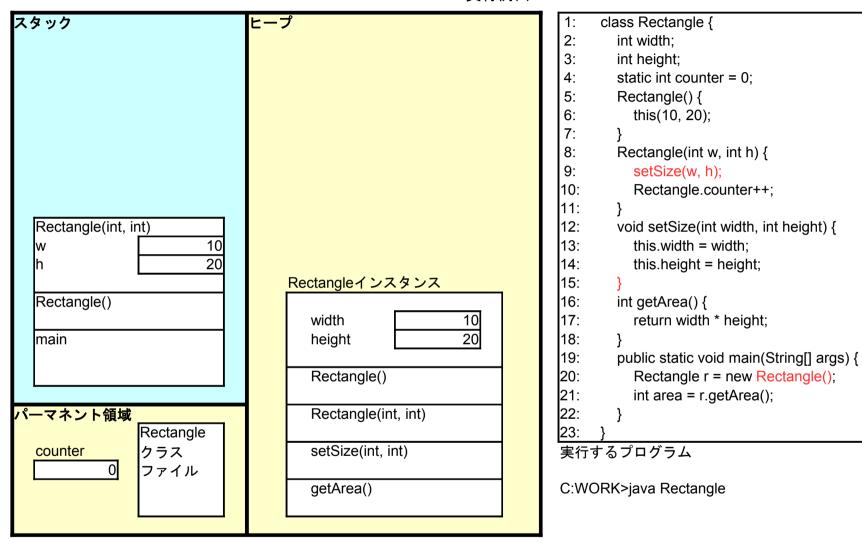
### 実行例(5)



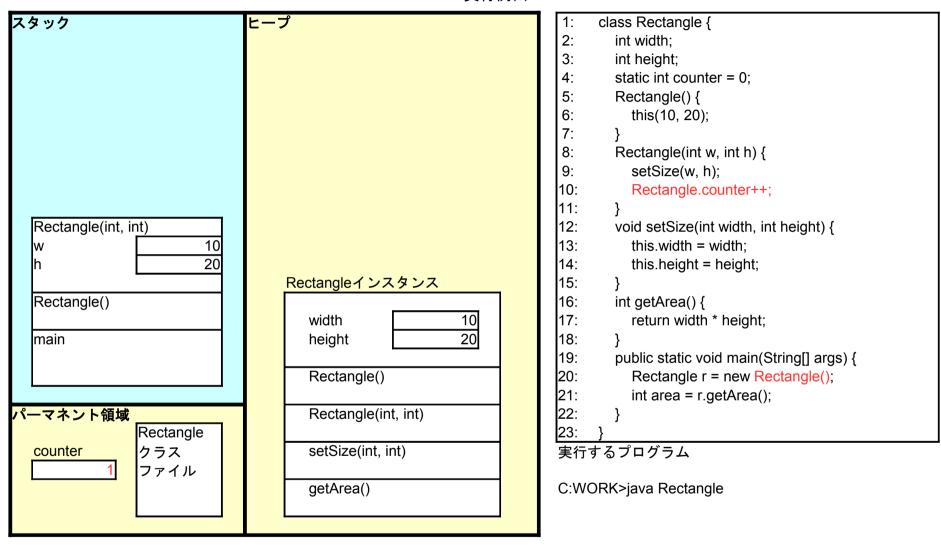
### 実行例(6)



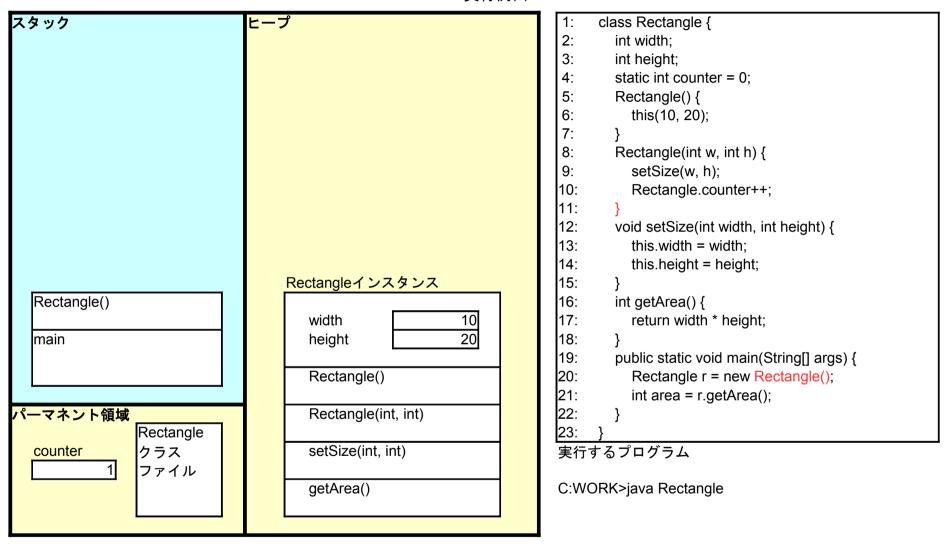
### 実行例(7)



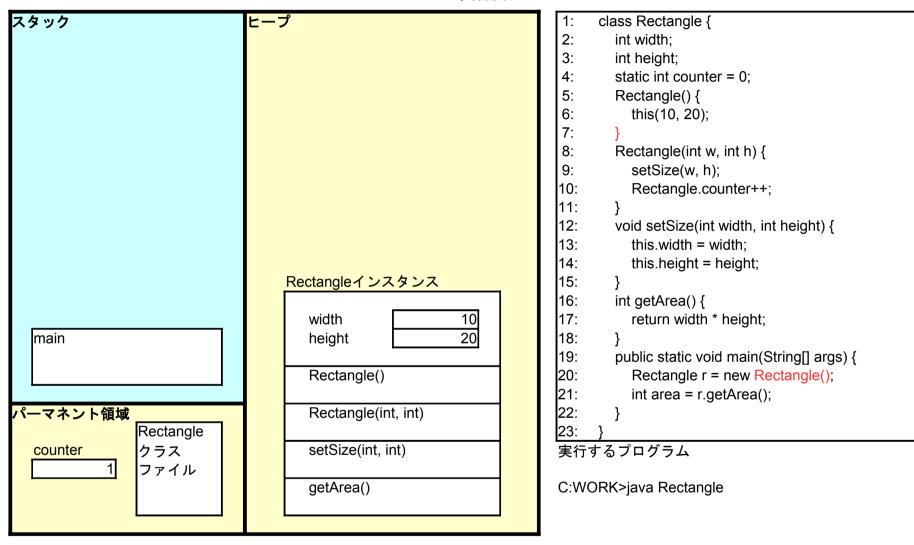
### 実行例(8)



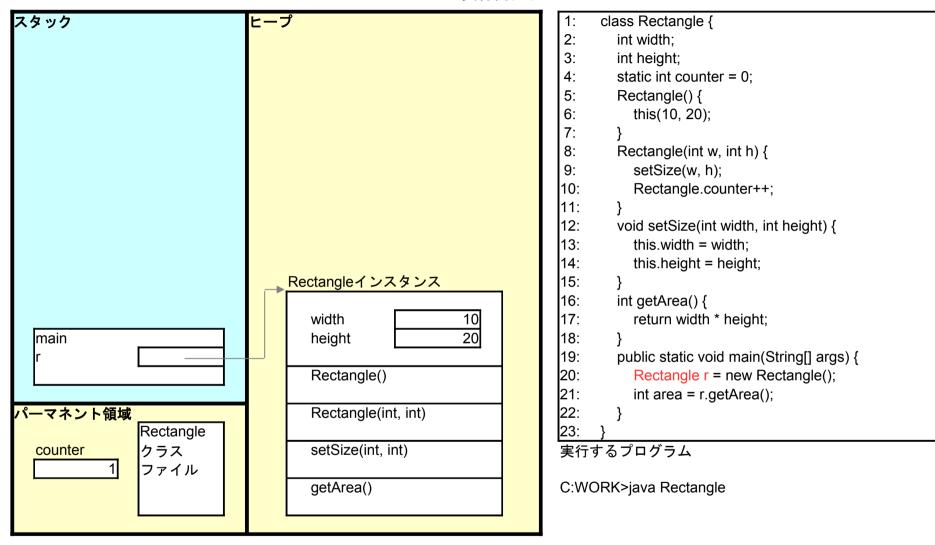
実行例(9)



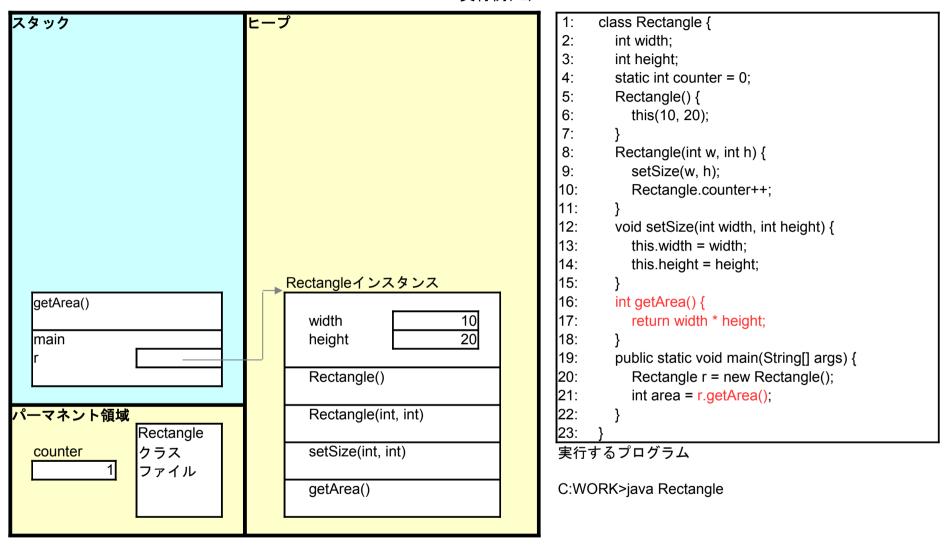
実行例(10)



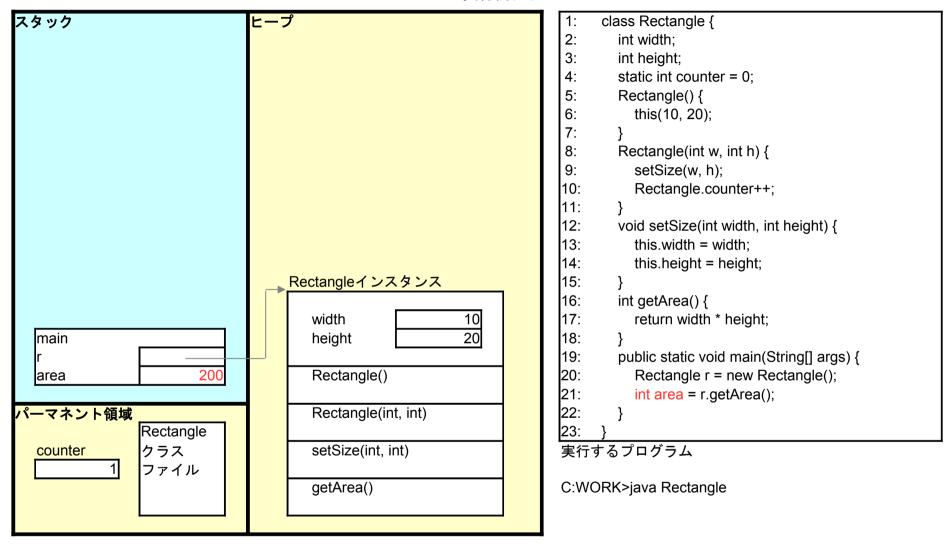
実行例(11)



### 実行例(12)



実行例(13)



実行例(14)

